

整理番号	29-14	事務事業名	農業用排水路維持管理事業	作成部署	経済部農政課	電話	内線852	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	池上俊廣	課長職名	鈴木康熙	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度		根拠法令等	土地改良法第2条第2項第1号に掲げる事業の施設					
"終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市が管理する農業用排水路の適正な委託業務により、病害虫の発生及び水害の予防に努め、農地の保全を図る。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	力強い産業活動が展開されるまち	(第6章)
	節	農業	(第1節)
	施策	生産・流通の振興	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市が管理する農業用排水路(排水路17条、総延長2.8km)	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	農業用排水路の草刈及び浚渫(水底の土砂をさらう)を行うことにより、流下断面を確保し、水害の予防を図る。さらに、病害虫の発生を抑え、農作物への影響を防止する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	16年度まで	業者に委託し、排水路の草刈及び浚渫を行った。 H13年度～(草刈)排水路17条(浚渫)排水路2,408m H14年度～(草刈)排水路17条(浚渫)排水路930m H15年度～(草刈)排水路17条(浚渫)排水路1,400m H16年度～(草刈)排水路17条(浚渫)排水路1,130m	
	17年度	H17年度～(草刈)排水路17条(浚渫)排水路1,230m	

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	6,318	7,184	6,709	6,709
	合計	6,318	7,184	6,709	6,709
人件費(概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費	+	7,218	8,084	7,609	7,609

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	排水路草刈(m ²)	159,680	159,680	159,680	159,680
	排水路浚渫(m)	1,400	1,130	1,230	1,230
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	全長に対する草刈実施率(%)	100	100	100	100
	全長に対する浚渫実施率(%)	5	4	4	4
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	排水路草刈(円/m ²)	35	33	37	37
	排水路浚渫(円/m)	1,190	1,125	650	650

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	農業への影響のほか、地域の環境保全のためにも必要な事業である。
---------------------------------	---------------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市所有及び国から管理受託している排水路のため、市が管理するのは妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	農地や農作物のための管理事業であったが、近年は施設近傍の住宅地からの苦情もあるため、今後も必要な事業である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	地元農業者に委託していた時期もあったが、高齢化や事故への不安が高まったため、現在は業者に委託している。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	雨水処理は農業者に起因するものではなく、また、都市排水も兼ねているため、負担を求めることはなじまない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	近年、湛水による農業被害はなく病害虫の大量発生もない。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	浚渫は、前年度の調査により優先順位を決定し、予算の範囲内で実施している。また、草刈りは年1回の実施であり、削減は出来ない。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	本市が管理している農業用排水路は、農業地域の排水のほか、稲穂町、朝日町、美咲き野、共栄工業団地などの都市排水も兼ねているため、今後も継続が必要な事業である。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	事業の公共性が高いことから、現状のとおり継続する。